

令和2年度予算における国立大学法人等施設整備の追加事業の選定の考え方

令和2年12月14日

国立大学法人等施設整備に関する検討会

令和2年度国立大学法人等施設整備の事業決定後、新たに生じた需要のうち、特に緊急性の高い以下の事業を追加して選定する。

	事業名	概要
1	東京芸術大学 (取手他) 基幹・環境整備 (空調設備等)	取手及び上野キャンパスにある大学美術館について、収蔵庫の特殊な空調設備の不具合により絵画にカビが発生するなど、所蔵する貴重な美術品に重大な損傷を及ぼすおそれが生じているため、空調設備の改修等を実施。
2	上越教育大学 (山屋敷) 基幹・環境整備 (トイレ改修)	内壁タイルの剥落が止まらず、利用する学生等へ落下の危険が迫っているトイレの改修を行う。また、衛生対策の観点から、床を湿式から乾式へ、便器を和式から洋式へ、手洗い等を非接触型に改修する。